

# プロの演奏家指導

水上高校吹奏楽部 「まだまだ伸びる」

春日文化ホールで10月12日に開かれる「ボランティア・市民活動フォーラムたんば」(丹波市社会福祉協議会主催)のオープニングセレモニーで演奏する水上高校吹奏楽部の部員14人が8月27日、同校でプロのジャズ演奏家の足立衛さん(68) Ⅱ

大阪府富田林市Ⅱの指導を受けた。

足立さんの父親が春日町棚原の出身という縁で、指導が実現した。部員は、著名なプロのクラリネットとアルトサクソフラス奏者のアドバイスに、自信を深めた。



足立さんから指導を受ける水上高校吹奏楽部のメンバー=同校で

足立さんは、西宮市立今津中学校時代に吹奏楽部に所属し、同校を25年間中学校日本一に導いた得津武史教諭門下の第一期生。自身も日本一の舞台を踏んだ。大阪の北陽高校(現・関大北陽高校)在学中に、JOBK大阪

放送管弦楽団に入団。その後ジャズに転向した。池田市民文化会館アゼリアホールを拠点に活動するアゼリアジャズオーケストラを立ち上げ、高校生の芸術鑑賞講座などに出演し、ジャズの歴史や素晴らしいさを伝えている。足立さんは、「宇宙戦艦ヤマト」「勇氣100%

」などの生徒の演奏を聴いて「トランペットが1人で頑張っているのに感心した。人の楽器の音をよく聞いて演奏してほしい」とアドバイスした。トランペットを担当している酒井美咲さん(2年)は、「ほめられてうれしかった。次は、もっとほめられるように頑張りたい」と笑顔。パーカッション担当の橋本愛羅さ

ん(同)は、「勇氣100%」のリズムをとるところで、最初はバラバラだったが、指導のおかげで練習していくうちにまとまった」と喜んでた。足立さんは、「素直な高校生の可能性を感じた。まだまだ伸びる」と話していた。

2013年9月1日/丹波新聞

# 丹波新聞